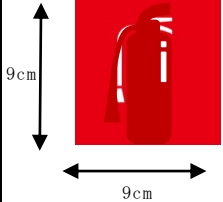


● 標識の様式

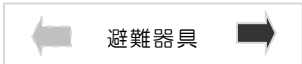
消防用設備等の標識の様式は、次表によること。なお、表示する名称等は、客観的に当該設備等が認識できるものであれば、この限りでない。又、初期消火及

び避難に使用するものは、できるだけ英語・絵表示による併記をすること。

標識類の種別		標識類の例	大きさ (cm)・色等
消火器具	「消火器」、「消火バケツ」、「消火水槽」、「消火砂」又は「消火ひる石」と表示した標識（規則第9条第4号）★	消 火 器 (fire extinguisher) 消 火 バ ケ ツ (water bucket) 消 火 水 槽 (water tank) 消 火 砂 (dry sand) 消 火 ひ る 石 (expanded vermiculite)	8×24 以上 赤地 白文字 ☆ ※ 市販品には、白地(素地)に赤文字のものもあるが、当局では赤地に白文字で統一すること。 ☆ ※ ボックス内に収容しており、本体が視認できない場合は、努めて絵表示を併記すること。 消 火 器 fire extinguisher 
	1号消火栓箱の表示（規則第12条第1項第3号イ）★	消 火 栓 (fire hydrant)	1字 50 平方cm以上 容易に識別できる色 ※ 絵表示の併記例 ☆ 消 火 栓 fire hydrant  又は 
屋内消火栓設備	2号消火栓箱の表示（規則第12条第2項）★	消火栓又は2号消火栓 ☆ (fire hydrant)	1字 20 平方cm以上 容易に識別できる色 ※ 絵表示の併記例 ☆ 消 火 栓 fire hydrant 

ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	補助散水栓箱の表示（規則第 13 条の 6 第 4 項第 3 号イ） ★	消火用散水栓 (fire hydrant)	1 字 20 平方 cm 以上 容易に識別できる色 ※ 絵表示の併記例 ☆ 消火用散水栓 fire hydrant 
	スプリンクラー設備の制御弁である旨を表示した標識（規則第 14 条第 1 項第 3 号ハ） ★	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備 制 御 弁	10×30 以上 赤地 白文字 ☆
	閉鎖型・開放型ヘッドを用いるスプリンクラー設備の末端試験弁である旨を表示した標識（規則第 14 条第 1 項第 5 号の 2 ハ） ★	末 端 試 験 弁	10×30 以上 赤地 白文字 ☆
	スプリンクラー設備の送水口である旨及びその送水圧力範囲を表示した標識（規則第 14 条第 1 項第 6 号ホ） ★ ※当該スプリンクラー設備の有くな送水圧範囲の数値を表示すること。	送 水 口 (スプリンクラー設備) 〇〇MPa～〇〇MPa	15×30 以上 赤地 白文字 ☆

特殊 消火 設備	水噴霧消火設備の制御弁である旨を表示した標識（規則第 16 条第 3 項第 4 号） ★		10×30 以上 赤地 白文字 ☆
	泡消火設備の制御弁である旨を表示した標識（規則第 14 条第 1 項第 3 号ハ準用）		10×30 以上 赤地 白文字
	水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備の手動式の起動装置である旨を表示した標識又はその旨の表示（規則第 16 条第 3 項第 3 号ホ(ロ)ほか） ★		10×30 以上 赤地 白文字 ☆
	移動式の消火設備（泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備）である旨の表示又はその旨を表示した標識（規則第 18 条第 4 項第 4 号イほか） ★		10×30 以上 赤地 白文字 ☆
	消火設備のホース接続口である旨を表示した標識（規則第 18 条第 4 項第 10 号ロ(ホ)） ★		10×30 以上 赤地 白文字 ☆

屋外消火栓設備	屋外消火栓に設ける標識（規則第 22 条第 4 号ロ） ★	消 火 栓 (fire hydrant)	1 字 50 平方 cm 以上 容易に識別できる色 ※ 絵表示併記の例 
	屋外消火栓箱の表面の表示（規則第 22 条第 4 号イ） ★	ホース格納箱 (fire hose)	1 字 50 平方 cm 以上 容易に識別できる色
非常警報設備	非常電話を設けた場所を表示する標識	 (emergency telephone)	5×25 以上 赤地 白文字
避難器具	避難器具である旨を表示する標識（規則第 27 条第 3 号ロ） ★	 避難はしご、緩降機、救助袋、すべり台等の一般に普及している名称にあっては、当該名称とすることが出来る。 (emergency escape device)	12×36 以上 白地 黒文字 ☆
	避難器具の設置位置まで誘導する標識（◇避難器具●6(1)） ★	避難器具の設置場所へ至る出口に設けるもの  (the installation place for emergency escape device)	12×36 以上 白地 黒文字 ☆
	避難器具の設置位置まで誘導する標識 ※ 避難器具を設置してある部屋の入口に設けるもの	 (the installation room for emergency escape device)	12×36 以上 白地 黒文字
	避難器具の設置位置まで誘導する標識 ※ 避難器具を設置してある場所へ誘導するもの	 (emergency escape device)	12×36 以上 白地 黒文字
	避難器具の使用方法を表示した標識（規則第 27 条第 3 号ロ） ★		30×60 以上 白地 黒文字 ☆

	避難器具に設ける表示板（避難器具の基準（昭和 53 年 3 月 31 日消防庁告示第 1 号）） ★	種 別 ○○○○○○ 製造者名又は商標 ○○○ 製造年月 ○○年○○月 ※ ◆◆ ○○m 「※」部分には避難器具の種別に応じて長さ、勾配、自重等が入る。	概ね 5×7 以上 白地又は素材の地色 黒文字 ☆
消防用水	消防用水の標識 ★	消 防 用 水 容量○○m³ (前方○○m) 消 防 用 水 容量○○m³ (前方○○m) は、吸管投入孔を設ける場合に表示すること。	長方形の場合は 20×40 以上、円形の場合は直径 40 以上 白地 赤文字 (消防用水の部分) ★ 黒文字 (その他の部分)
連結散水設備	連結散水設備の送水口である旨及びその送水圧力範囲を表示した標識（規則第 30 条の 3 第 4 号ニ） ★ ※当該連結散水設備の有効な送水圧力範囲の数値を表示すること。	送 水 □ (連 結 散 水 設 備) ○○MPa～○○MPa	10×30 以上 赤地 白文字 ☆
	選択弁に設ける標識	連 結 散 水 設 備 選 択 弁	10×30 以上 赤地 白文字
連結送水管	連結送水管の送水口である旨を表示した標識（規則第 31 条第 4 号） ★ ※配管の設計送水圧が 1.0Mpa を超えない設計によって設置されている場合 1.0Mpa、1.0Mpa を超える場合は最高送水圧力を記載	送 水 □ (連 結 送 水 管) ○○MPa～○○MPa ○○階以上ブースター ポンプ設置 最高送水圧力○○MPa 薄色書きは、ブースターポンプを設ける場合に表示すること。 ☆	10×30 以上 赤地 白文字 ☆
	連結送水管の放水口である旨を表示した標識（規則第 31 条第 4 号） ★	放 水 □	10×30 以上 赤地 白文字 ☆

	放水用器具を格納した箱である旨を表示した標識（規則第 31 条第 6 号ニ）★	放水用器具格納箱	10×50 以上 赤地 白文字 ☆
非常コンセント設備	非常コンセントの保護箱の表面の「非常コンセント」の表示（規則第 31 条の 2 第 9 号イ）★	非常コンセント	5×25 以上 赤地 白文字 ☆
無線通信補助設備	無線機を接続する端子収容する保護箱の表面の「無線機接続端子」の表示（規則第 31 条の 2 の 2 第 8 号ニ(ロ)）★	無線機接続端子 （消防隊専用）	20×30 以上 赤地 白文字 ☆
パッケージ型消火設備	パッケージ型消火設備である旨の表示（平成 16 年消防庁告示第 12 号第 4 第 5 号）★	パッケージ型消火設備 (packaged fire hydrant)	10×50 以上 赤地 白文字 ☆
パッケージ型自動消火設備	パッケージ型自動消火設備である旨の表示（平成 16 年消防庁告示第 13 号第 20）★	パッケージ型自動消火設備 (packaged sprinkler system)	10×50 以上 赤地 白文字 ☆

備 考

- 1 標示場所の状況等により、大きさをこの表に掲げる数値以上とする場合又は縦書とする場合には、長辺と短辺の比率をこの表の比率とすること。
- 2 設置位置を表示する標識及び設置等位置まで誘導する標識については、避難器具の設置場所が容易にわかる場合にあつては、設置しないことができる。
- 3 標識の材料は、耐久性及び耐候性等を有するものであること。
- 4 「消防用設備等の標識類の様式について」（昭和 44 年 10 月 20 日 消防予第 238 号）に示す標識については、原則として当該表に示す色とするが、周囲の状況及び色の対比等により、これらによらなくとも十分認識できると認められる場合にあつては、当該通知の色によらないことができるものとする。